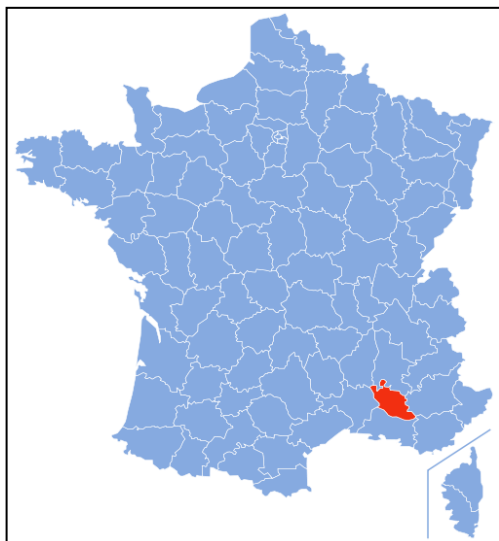


栃木県の観光プロモーション in ヴォークリューズ

フランス・ヴォークリューズ県¹との友好交流 20 周年記念式典に出席するため同県を訪れていた福田富一栃木県知事は、県都アヴィニオン市で、11 月 10 日、同県観光関係機関や地元の旅行代理店などの観光業者を対象とした栃木県観光プロモーションを行いました。



ヴォークリューズ県

まず、最初にヴォークリューズ県観光委員会会議室で栃木県の観光プレゼンテーションが行われた後、栃木県から持参した県産品の試食・試飲を兼ねた昼食会が行われました。いずれもヴォークリューズ県観光委員会の関係者と地元の旅行代理店の代表者ら 35 名が招かれました。今回は、会場が小規模だったため、知事を含む栃木県の関係者と参加者との距離は遠く離れず、一人ひとりの顔が見える形で、終始観光プロモーションが行われました。

冒頭、ヴォークリューズ県観光委員会フィエ会長による栃木県の観光プロモーションに期待を寄せる挨拶が行われた後、福田知事がプレゼンテーションを行いました。発表の構成については、まず栃木県の地理的位置について説明したあと、県内の観光資源について、続いて、県の特産品や伝統工芸品について紹介し、最後に質疑応答で発表を終えました。

プレゼンテーションの内容については、成田空港あるいは東京に着いてから栃木までの移動について参加者がイメージしやすいように、利用する交通手段の具体的な名前や経路、そして所要時間を図示しながら、東京からのアクセスの良さを丁寧に説明しました。続いて県内の観光資源の紹介については、県内を 6 つの地域に分け（塩原・那須・県央・県東・県南・日光）、地区ごとに観光の魅力を説明しました。観光資源のプレゼンテーションの部分については、その地区の四季折々の美しさや風情のある温泉の様子など厳選した写真を



プレゼンテーションの様子

（右から：フィエ観光委員会会長、福田知事、通訳者、青木県議会議長）

¹ ヴォークリューズ県 (Vaucluse) : パリからおおよそ 700km 南に位置し、面積 3567k m² の県。151 のコミューンから構成され、人口は 53 万 3 千人。県庁所在地はアヴィニオン市。アヴィニオン市までは TGV でおおよそ 3 時間弱。農産物加工業が主な産業のほか、年間おおよそ 440 万人の観光客が訪れる観光業も盛んな地域。栃木県とは 1989 年 10 月 9 日に友好関係を樹立した。

利用して、観光地の雰囲気やイメージを視覚的に伝えることを最優先した説明でした。また、県央と日光の二つの地域については、福田知事に代わり、その地域の観光資源を最も熟知している宇都宮商工会議所の築会頭と栃木県観光物産協会の小松会長がそれぞれの地域の観光の魅力について説明することにより、発表に変化をもたらすことにつながりました。最後に設けられた質疑応答の時間では、参加者である旅行代理店の方からは、栃木県の観光資源についての質問以外にも、旅行パッケージツアーを造成する上でどこと連絡を取ったらよいのかなどとビジネスに直結するような内容の質問が出されました。

観光プレゼンテーションが終わった後、昼食会が行われ、栃木県の特産品が参加者に提供されました。特に栃木県の地酒のおいしさをフランス人に味わってもらうために、日本から持参した県特産品の益子焼のぐいのみを用いただけでなく、栃木県にお店を持つフレンチレストランのシェフの助言をもとに、地酒に合う料理が提供されました。その料理には、現地の新鮮な食材を使用しており、ヴォークューズ県への細やかな気遣いも感じられました。



会場で提供された栃木県の地酒と益子焼のぐいのみ

当日、参加したある現地旅行代理店の方に感想を聞いたところ、「栃木県のことについて全く知らなかったので栃木県の観光について知る良い機会となった」といい、「栃木県の美しい自然にとっても惹かれた」と感想を述べました。また、別の方は、「栃木県のすべての観光資源に興味深かったが、その中でも益子焼や日光に興味深かった」と言っていました。

当日のプレゼンテーションの中で、「日光について知っていますか」との小松会長の声かけに対して、会場に来ていた現地旅行代理店の方の中で日光を知っている人は一人もいませんでした。日本人なら誰でも知っている日光ですが、フランスではほとんど知られていないことを知り驚きました。参加者の感想にもあるように、この観光プロモーションを通して、栃木県は観光目的地としての栃木の魅力を参加者へ十分伝えることができたのではないかと思います。

2009年11月10日

クレアパリ事務所

所長補佐 安藤洋行（静岡県派遣）